

会議状況等報告書		報告者	高橋 宏幸
会議の名称	第1回 大府市緑の基本計画策定委員会		
日 時	令和元年11月20日（火）9時00分～		
場 所	201会議室		
出席者	樋口委員長、山内副委員長、服部委員、櫻井委員、水谷委員、島田委員、鷹羽委員、		
	美馬委員、稲吉オブザーバー		
	市長、玉村部長、佐藤課長、深谷係長、松井主任、阪本主任、渡邊技師、高橋		
欠席者	林委員、能勢委員、深谷委員		
内 容			
1. 委員委嘱 市長より各委員に委嘱状を交付。			
2. あいさつ （市長） おはようございます。先程、皆様に緑の基本計画策定委員の委嘱をさせて頂きました。本日から令和2年8月末まで、期限を区切ったの委嘱となります。現在、新しい総合計画を来年度からスタートすべく、総合計画の基本構想が議決しました。基本構想に基づき基本計画等内容をつめている段階にあります。総合計画の変更に伴い、様々な関連の計画を改定することとなります。今回は、緑の基本計画について改定し、令和3年度には新しい計画をスタートさせるべく、皆様には令和2年8月末までの任期の間に計画策定にお力添えをお願いします。 大府市は名古屋の近郊にありながら非常に緑が多いことで多くの市民の方々から喜んで頂いております。その一方で、区画整理事業などの影響で緑が減少していくこともございますので、緑を守る、無くなった緑を増やすということも計画の中に盛り込んで頂ければと思っております。最近の新しい取り組みですと、二ツ池公園にフジバカマを植えアサギマダラという蝶が飛来しました。来年度以降の話になりますが、大府市にはまだまだ未整備の竹林が残っております。その竹林を活用した公園や緑道を整備していきたいと思っております。また、大府市は来年で市制50周年を迎えることを機に、サクラとツツジを市の木・市の花に追加していきたいと考えておりますので、計画にも盛り込んで頂ければと思います。緑を取り巻く環境問題については、世の中大きく変化しておりますので、変化に対応した実効性のある計画を推進していきたいと思っておりますので、素晴らしい計画をご提案頂けますよう、よろしくお願いいたします。			
3. 自己紹介 各委員、事務局より自己紹介を行う。			
4. 委員長・副委員長の選任について （1） <u>委員長・副委員長の選任</u> 委員長には樋口委員、副委員長には山内委員が選任される。			
（2） <u>委員長あいさつ</u> （樋口委員長） 大府市は市民の皆さんの緑に対する活動がとても熱心で活動的であると感じています。昨年度、緑化推進委員会の会議で研究生が報告をしたが、市民意識調査を分析すると農地や森林がある地域に住んでおられる方、都市公園の近くに住んでおられる方の緑の満足度が高いという結果でした。緑の基本計画ということなので、大府市全体で緑を実感し、楽しむということを推進できるような計画にしていきたいと思っております。また、大府市ならではの取り組みが前面に出て、市民の皆様にも緑の推進が伝わるような計画にしたいという思いですので、本日は皆様より活発なご意見を積極的に上げていただきたいと思います。			

5. 議題 大府市緑の基本計画について 9:20～

- (1) 大府市緑の基本計画の策定趣旨について
事務局から緑の基本計画の策定趣旨を説明。
- (2) 現行計画の概要
事務局から概要を説明。
- (3) 新たな緑の基本計画への取り組み案
 - 持続可能な開発目標（SDGs）の考え方の反映
 - 公園・緑地を使いこなす
 - 生物多様性への配慮
 - グリーンインフラの形成

【各委員からのご提案】

- (委 員) 現行計画の目指すべき緑の方向性を実現するための指標に、アダプトプログラムで緑の活動をしている団体数が48団体あると実績値に記載されているが、どういった団体なのか。48団体の詳細、どんな活動をしているのかを把握できていないと意見が出来ない。名前だけ登録をしたが、活動をしていない団体があるとすれば意味をなさないのでないか。また、植栽等は植えただけ、企画しただけではなく、植えた後に維持をしていかなければならない。フジバカマの件でも、植えて終わりではなく維持管理をしていかななくてはならない。大府市として取り組んできた過程をしっかりと発表するべきではないか。
- (委 員) フジバカマの件は、環境課が取り組んできたこと。市役所内で各課と連携して取り組まなければならないのではないかと。各課での連携を取って、意見や情報を取りまとめて進めていかななくてはならないのではないかと。
- (委 員) 持続可能な開発、公園・緑地を使いこなすという観点で非常に重要なことである。この観点で一度意見を出し合いたいと思うがいかがか。
- (委 員) 緑の活動をしている団体の主要な方々同士で話し合う場を設けるべき。
- (委 員) 市民との協働による体制づくりがまだ形成出来ていないということに尽きる。協働でやろうにも情報共有が出来ていないことや、例えば花壇を作るのに近場に水が無く、水を運ぶのに手一杯になるなどの問題も起きている。大府市としてインフラを整備した上で、市民と協働出来る体制をまず整えるべきである。団体に任せる以上、市が団体への支援を行い、団体が指揮を取っていける仕組みを作るべきではないか。
- (委 員) 体制を整えるという観点について、以前に私は自治会で2年という任期が区切られた中で、緑に対する取り組みをやっていたが、任期の中で完了させることは難しかった。活動を継続していくという観点から見ても、サラリーマン等では割ける時間も限られる。持続可能な維持管理を行えるような体制作りをするべき。
- (委 員) アダプト活動団体が、見えないところで取り組まれていることをもっと発表するべき。市民が自主的にやっていこうと思えるような仕組みを考えて実行しなくてはいいけない。各48団体を集めて意見交換を行うと良いのではないかと。継続して活動している団体へのサポートをしていくことも大事ではないか。
- (委 員) 48団体について把握できているのか。
- (事務局) 把握はしている。
- (委 員) アダプトプログラムの各団体情報と取り組み事例の資料を次回提示してください。
- (委 員) 緑に関連するアダプトプログラムの団体が48団体とのことかと思うが、緑の活動を軸に市民のコミュニティ作りにも発展出来るように、今後改善していければ良いのではないかと。アダプト内での情報交換だけでなく、アダプトで活動をしている地域の中での情報交換もできれば良いのではないかと。
- (委 員) 基本方針の中では“みんなで、はぐくむ”が一番重要になると思う。
 - ① 水や緑などの自然の多さに満足している市民の割合。目標値50%のところ実績値62.9%となっている。
 - ② 民有地緑化制度を活用した植栽本数。目標へ大幅に届いていない。
 - ③ 公園面積はすでに達成している。これらの結果の理由は、どんな取り組みを行った結果なのか。

(事務局) ①シビックガーデンコンテスト等の開催やセルトナフェスタ等での緑化木配布等の取り組みで、各家庭での緑への活動が増えたことが影響しているのではないかと考えている。

②中間年度で目標をクリアしたため、目標値を大幅に増加させた。そのため今現在目標値には届いていない状況。

③区画整理事業を行う際に、公園・ポケットパークの整備を進めている。

(委員) 公園面積というのは、こういった公園を該当させているのか。

(事務局) 都市公園を対象として集計している。

(委員) 公園だけでなく、緑が減らないために、農地や森林なども面積に含めるような方針の見直しを検討してはいかがか。

(委員) シビックガーデンコンテストは過去と比べての市民の認識の広がりや、課題についていかがか。

(委員) シビックガーデンコンテストには第1回から第6回まで参加している。当初は花が好きの方が前向きに取り組んでいた。民間企業等でもきれいに整備している企業もある。その中には、人に見せるために庭の手入れをしているわけではないという方もいる。市のコンテストにぜひ参加してくださいとの申し入れは行うが、なかなか参加されない。コンテストは入賞者の紹介しかされないが、他にも良い取り組みは紹介出来ると良い。初めにコンテストが開催されることを知った際、花の手入れに時間を割けていなかったが、「鉢植え1個から参加出来る」というところをきっかけに、取り組んでいくことが出来た。お花での繋がりで友人もでき、コミュニティが形成できた。

(委員) コンテストに参加するきっかけとなったのは、大府市のホームページに「鉢植え1個から参加可能」という記載があったから。ハードルを下げて貰えるとどんな方でも参加しやすい。セルトナでシビックガーデンを作ろうという講座があり受講して、知人とコンテストに参加したこともある。参加者のモチベーションが維持できるような仕組みがあると持続出来ると思う。

(委員) 前提として花が好きであるということが大事であるが、入賞することがすべてではないということも気付けたので、多くの方に参加してもらいたい。

(委員) コンテストでレベルアップしていく人、維持していく人、色々な姿がある。

(委員) コンテストは親子での触れ合い、コミュニケーションの場にもなると思う。

(委員) 愛知県広域緑地計画の改定があったことに対して、取り組んだ方が良いことなど伺いたい。

(オブザーバー) 愛知県広域緑地計画の中で、緑の基本計画に役立つ部分については、事務局からの説明にもあった、取り組み例の中でピックアップされている箇所になる。

全般的な意見を申し上げると、緑の課題についての内容が薄すぎる。定量的なデータが何もない。指標として取り上げたものについてしか数値データが無い。どの取り組みが進んでいて、どの取り組みが進んでないのか、なぜ進んでいないのか。予算、人員、賛同が得られなかった等、色々な要因があると思うが、どういう要因で進んでいなかったのかを明確にしなければならない。次の新しい計画を策定していくにあたって、何が課題で重要であるかが分からない。現況の課題を定量的に整理する必要がある。

民有地緑化制度の植栽本数だが、10年前からあいち森と緑づくり事業を行い、10年間で増えた緑地面積は100ha程。愛知県内の54市町村の中で、大府市は市民の自発的な活動の民有地緑化で2.5ha程増えているという実績は多い数字である。公有地なのか、民有地なのかどこで増やしていく必要があるのか等、もっと整理をする必要があるのではないかと。

(事務局) 改定に向けた作業を開始させたばかりで、明確な数値が出せていない。次回の策定委員会開催時には詳細の資料を提示できるよう進めていく。

(委員) 新しい公園の管理について、都市公園で民間と提携して管理している事業は愛知県内で事例はあるか。

(オブザーバー) ・牧野ヶ池緑地 竹林整備 NPO団体が整備。
・大高緑地 ディノアドベンチャー(動く恐竜) 民間が設置し管理
・新城総合公園 フォレストアドベンチャー
・小幡緑地 樹林地の広場で民間の募集を行っている最中。

(委員) 事務局としても事例を情報収集して取り入れてはどうか。

(委員) 県で補助金が出る市民イベントは開催できるのか。

(オブザーバー) 緑に関するイベントで市民の方々を集めての緑化教室や鉢植えを行うなど、条件が合えば補助金を出せることもある。

(事務局) Park-PFIは全国的に広がっていく傾向にあるのか。

(オブザーバー) これから普及していくと思われる。名古屋市でも久屋大通でPark-PFIでの募集を行っている。

(委員) 現行の計画では4つの目標値があり、公園の量については公園面積だけとなっているが、次期計画では一人当たりの公園面積という指標を取り入れて欲しい。

(事務局) 現在の公園面積の実績値96.6haを大府市の人口で換算すると、一人当たり10.45㎡となる。第6次総合計画で10年後の大府市の人口を10万人と想定しているので、一人当たり10㎡を確保できるよう計画を策定検討していく。

(委員) 第6次大府市総合計画と第4次大府市都市計画マスタープランはいつまでの計画となるのか。

(事務局) 2020年~2030年となる。

(委員) 第2次環境基本計画はどうか。環境基本計画とも密接にかかわってくると思うので、情報収集を行ってください。

(委員) 提案として観光緑化、人を呼べる緑化を行ってはどうか。

(委員) これまでの現行計画の中では、観光という観点での取り組みは無い。大府市ではここがすごいというインパクトのある見せ方、例えば大府駅の前は緑で溢れていてすごいと思われ、市内はもちろん市外から来た方も驚かれるようなことをやりたい。

(委員) 大倉公園ではふるさとガイドを行っている。大府駅から大倉公園への道のりが観光の始まりとなれば良い。共和町にはイチヨウ並木がある。皆さんが知り得ないようなスポットもある。

(委員) 桜という観点について。市内での桜がどれほどあるか把握できているのか。

(事務局) 現在市内の桜情報を掲載した「サクラマップ」を作製中である。

(委員) 桜だけでなく他の木や花について、市としてもっと取り上げて欲しい。

(委員) 竹林について、候補地などはあるのか。

(事務局) 候補地として考えている場所はある。

(委員) 他市事例であるが、竹林にはキツネがおり住処がなくなってしまう。生物多様性の観点も考えて整備することが大事ではないか。

(委員) インパクトのある取り組みを是非考えたい。地域の方々が主で動いていき、市としては後ろからバックアップできるような体制を考え、大府市が初となるような画期的な取り組みを行いたい。

(4)策定スケジュール 10:45～

【主なスケジュール】

- 市制50周年に向けて、令和2年8月中の策定を目指す。
- 令和2年7月 パブリックコメントの実施を予定。
- 議会説明等を見据えて、令和2年5月上旬を目途に、計画書（素案）の完成を目指す。
- 4～5回程度策定委員会を開催予定。令和2年2月に第2回を開催予定。

（オブザーバー）総合計画、都市計画マスタープランの情報も次回開催時には資料を提出してください。

(5)その他 10:55～

（事務局）次回緑の基本計画策定員会は令和2年2月19日を予定しております。出来る限り早く資料をまとめ、皆様に目を通していただき活発なご意見を頂戴したい。

（玉村部長）

本日は長時間にわたり、熱心にご協議頂きありがとうございました。今回の会議で皆様の緑に対する熱い思いが伝わってきました。会の中で夢のある計画をとお話がありましたが、我々緑花公園課も思いは同じです。この計画がこれからの大府市のレガシーとなるような良い計画にしたいと考えておりますので、皆様方のお力添えを頂きたいと思っております。

—以上—